

外縁付鈕2式 横型流水文 外2横流 3対耳姉妹

「外縁付鈕2式」 横型流水文 外2横流 3対耳姉妹

○奈良県 奈良市山町 (早田) 山町鐸  
○徳島県 (伝) 徳島市川内町榎瀬 榎瀬鐸

☆奈良県 奈良市山町 (早田) 山町鐸 高さ 43.5cm  
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画3対耳 奈良国立博物館蔵  
☆徳島県 (伝) 徳島市川内町榎瀬 辰馬408鐸 高さ 45.2cm  
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画3対耳 辰馬考古資料館蔵

A面

観察想像スケッチ



45cmクラス 2区画の流水文  
脚が三箇所ともに存在するが A・B面ともに  
その脚部分に上書きするように 鱗の文様が入る  
3対耳 B2タイプ

横帯上は 斜格子文  
横帯下は 鋸歯文

A面 鈕部外側から内側へ

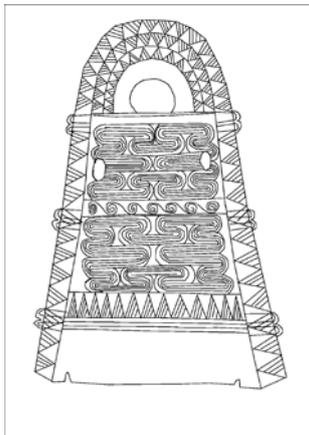
1列目 連続渦文S  
2列目 連続渦文Z  
3列目 連続渦文Zが端部分 中央に環状文  
4列目 中央に 蕨手文 右端に 連続渦文Z 左端に 連続渦文S

鱗部分は 右鱗の部分は 連続渦文Z 左鱗部分は 連続渦文S

身の文様は 上・下面ともに 8c7x

鱗に 連続渦文を使用する珍しいタイプの銅鐸のA面です  
全体的にも 連続渦文祭りの状態ですね

## B面



まず鈕から

B面鈕部分は外側から内側へ

1列目から2列目 鋸歯文R

3列目 鋸歯文L

A面との違いが凄まじい 連続渦文VS鋸歯文のようだ

身について

横帯 上 連続渦文Z ここにも連続渦文を使うのか

横帯 下 鋸歯文

下界線が 3本

身の文様はA面とおなじ 8 c 7 x

緒部分は 右緒が 鋸歯文R 左緒が 鋸歯文L

A・B面 8 c 7 x 流水文以外 あまりにも違うので 驚くばかりです  
同じ銅鐸とは 思えない

本当に 職人さん達の考え方がどうしても わからん

A・B面 それぞれ違う人が 鋳型を作っているのだろうか

今回も鈕部分に 連続渦文や環状文や蕨手文という多彩な髪飾りを  
使用しているということで 姉妹に しました